

いの町 紙の博物館

- ▶開館時間：9：00～17：00
- ▶休館日：毎週月曜日(ただし、祝日は開館し翌日休館)
- ▶電話番号：893-0886
- ▶入館料：大人 500円 / 小中高生 100円
65歳以上 250円(要年齢証明)
- *販売コーナーは、入場無料です。
- *購入日から1年間、何度でも入場できるお得な年間観覧券(1,500円)販売中!



◆高知の産業発展に尽くしてきた電車展～紙の町で辿る～ 8月19日(日)まで

路面電車と紙の町の歴史を感じる写真を和紙を用いて展示します。
※本展は玄関ロビーにて展示していますので、入館料不要でご覧いただけます。

◆第33回紙とあそぼう作品展 8月19日(日)まで

紙の可能性を探り、幼児から小・中学生が紙を使って制作した作品を展示します。

◆吉川染工房の仕事と絵金展 9月2日(日)まで

土佐の匠 吉川毅氏の制作したフラフ、土佐風等と絵師金蔵の作品を展示します。

◆旅～和紙でつづる～ 8月5日(日)～8月19日(日)

幼稚園児から大人までの和紙に親しむグループ「はまゆうちぎり絵教室」が、土佐和紙を使って制作した作品を展示します。



博物館で過ごす なつやすみ!

8月は玄関ロビーにていろいろな紙もの体験を開催します。

※すべて申し込み不要です。
開催時間内にお越しください。

「土佐和紙で作る暑中お見舞い」

8月4日(土)・25日(土) 10：00～15：00
・体験料：500円

「折り紙の新技!?浮き折りを体験」

8月4日(土)・5日(日)・18日(土) 10：00～15：00
・体験料：200円

高知の産業発展に尽くしてきた電車展は
みなさんの路面電車にまつわる思い出でつくられます

路面電車・伊野線にまつわる
資料をお寄せください

高知の産業発展に尽くしてきた電車展
いの町紙の博物館 2018.07.24-08.19



土佐紙業界の恩人・吉井源太を知る



吉井源太は幕末に伊野で生まれ、明治の終わりに亡くなるまで、製紙家として活躍し、日本紙業界の発展に全生涯を捧げ様々な功績を残しています。

ここでは、10月6日から始まる企画展開催を記念して、彼の功績を紹介します。

源太さん5つの大仕事!

その③コピー紙をつくりました

複写するための薄い紙・コピー紙を開発!コピーは今でいうコピーの意味で、特殊なインクを使い、圧力をかけて何枚も一度に複写しました。事務仕事に大変役に立つので、外国へもたくさん輸出されましたが、現在は作られていません。

吉井源太没後110年 記念企画展 10月6日(土)～11月11日(日)
「紙の交流・源太と日本の和紙産地ー明治から始まった絆を、新たに結ぶー」



ギャラリー・コパ

▶電話番号：893-1200

▶開館時間：9：00～17：00

◇夏の山野草展

8月2日(木)～8月12日(日)
夏の山野草、蘭科植物、シダなど合計約150鉢を展示します。

◇軸友会 私たちの展示会

「師の石摺遍路88ヶ所をたどる」
8月24日(金)～8月26日(日)
拓本、古布等の軸装を展示します。

◇ぶーふえす Vol.3 夏の陣

「ユミ・ツェワンの仏画・曼陀羅の世界」
8月29日(水)～9月2日(日)
チベットの芸術に関心を持っていただこうと、ユミ・ツェワンさんに熊本よりお越しいただきチベット仏画・曼陀羅を展示。雑貨販売・仏画ワークショップ・占いも実施します。